

ステークホルダーからの信頼

従業員一人ひとりが「社会との共生」を常に意識して行動し、社会を構成する一員としての責任を果たすことで、全てのステークホルダーから一層信頼される企業を目指しています。

15-17 お客様からの信頼

品質管理体制と品質向上への取り組み

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力強化のための取り組み

18 取引先の皆様からの信頼

取引先との協調

18 株主・投資家の皆様からの信頼

株主・投資家とのコミュニケーション促進

19-20 地域社会からの信頼

社会貢献活動

21-28 従業員からの信頼

ワーク・ライフ・バランス実現のための取り組み

従業員の能力開発

安全衛生管理のための取り組み

防災の取り組み



お客様からの信頼

品質管理体制と品質向上への取り組み

お客様の満足を高め、当社への信頼をより強固なものとするために、品質管理活動やお客様とのコミュニケーションの強化に取り組んでいます。

品質保証の取り組み

当社は、ISO9001品質マネジメントシステムや工業標準化法（JIS：日本工業規格）に基づき、品質保証部が中心となって品質マネジメントシステムの維持・管理、また技術部門、生産部門が一体となって品質管理活動を推進しています。

品質保証にかかわる業務全般を品質保証部という独立した部門が担うことで、品質保証機能の適正化、強化を図り、より信頼性の高い製品の提供に努めています。

さらに、品質保証担当役員を委員長とした品質保証委員会を定期開催しています。この委員会では、年度の品質保証の基本方針および計画についての審議と「重要課題の計画的な改善」、「品質クレームの未然防止」、「品質保証強化」などの改善活動を実施しています。

こうした品質管理活動を通して、第9次中期経営計画の経営基本方針である「『高信頼性鋼の山陽』のブランド力の更なる向上による企業価値の増大と成長を目指して」の達成に向けて、一層の品質向上に注力していきます。

QC（品質管理）教育

当社は、若手の技術系従業員に対してQCの代表的な手法・技法である統計的品質管理、QCストーリー、QC7つ道具、ピボットテーブル、検定・推定、実験計画法、重回帰分析などの社内教育を行っています。これらの手法・技法を活用し、各自が年度業務で抱えている課題の解決に取り組んでいます。

また、品質管理の担い手の育成を図るため、選抜した技術系従業員の社外QCセミナー派遣や品質管理検定の資格取得の奨励など、品質管理教育を積極的に進めています。



QC教育



「高信頼性鋼の山陽」のブランド力強化のための取り組み

「高信頼性鋼の山陽」を支える高い技術力を維持・強化していくために、技術の伝承、業務の改善など多様な活動を展開しています。

品質標語

全国品質月間にあたる11月を品質月間と定め、品質意識の高揚を目的として、品質標語の募集をしています。

2015年度の品質標語には、多数の応募から最優秀作として「技能と知恵を積み上げて 世界に届ける 最高品質」が選ばれました。

この標語を1年間社内に掲示し、品質意識の向上に役立てています。



表彰状を贈呈

を実現・維持する活動です。当社では、生産部門を主体に、自主保全・計画保全・個別改善・品質改善・安全衛生・教育訓練の6項目に重点を置いて、製造現場の作業単位（サークル）でTPM活動を推進しています。各サークルは毎月開催されるTOP指導会にて活動報告を行い、年4回開催されるTPM社内大会で活動成果を発表しTPM活動の充実を図っています。

また、「TPM技能道場」では、2015年度は月間約60名が来場し、機械要素・電気の基礎を実習し、自主保全技能のスキル向上を図っています。

技術講演会の開催

当社では、鉄鋼に関する最新の研究・開発動向などを幅広く全社的に紹介するため、内外の研究者や技術者を講師に招いた技術講演会を開催しています。

2015年度は、「スピントロニクス産業の将来展望」と題した講演会を開催し、多数の聴講者が参加しました。活発な質疑応答が行われ、今後の研究開発に大いに参考となる有意義な会となりました。

知的財産の取り組み

当社では、企業行動指針の下、知的財産権が重要な経営資産であることおよび他社の知的財産権を自社の権利と同様に尊重することを定めています。

知的財産管理については、2015年度に査定、審決が確定した出願のうち、92%が特許されました。主な例として、ショットピーニングに用いる高硬度投射材「FeCrBショット材」で2件、高靱性熱間工具鋼「QT41-HARMOTEX※（キューティーヨンジュウイチ ハーモテックス）」で1件、特許権を取得しました。これらを含め、当社の特許保有件数は370件まで増加しました。

機密情報管理については、2015年1月に経済産業省が営業秘密管理指針を全面改訂し、機密情報への意識が一層高まっていることを受け、当社でも、2015年10月に弁護士を講師に招いた講演会を開催し、技術系従業員を中心に製造ノウハウの管理の大切さについて周知を図りました。

※ HARMOTEXは登録商標です。

技能伝承活動の推進

高度な技能を有する多くの熟練者の退職が迫っているなかで、若い世代に技能を伝え、「現場力」を維持・向上することを目的として、2015年4月に「技能伝承グループ」を新設し、生産現場と一体となって積極的に技能伝承活動を展開しています。

伝承教育後には、筆記および実技による技能認定試験を必ず実施し、その成果を確認しており、2016年7月時点で延べ1,000件を超える技能の向上を図ることができました。

現在、活動関係者全員が全社の活動内容や進捗などを随時閲覧できるシステムの導入を計画中で、2016年度は、活動のさらなる盛り上がりを見込んでいます。



技能伝承の様子(熱鋼状態での寸法チェック)

TPM活動の推進

当社のTPM(Total Productive Maintenance：全員参加の生産保全)活動は、設備を対象に潜在する「故障、トラブル」に代表されるロス・ムダを徹底的に排除して、生産効率(経営効率)を極限まで高め、製品の安定供給